

# 由布院駅

# アートホール

## 2025年度 展覧会企画募集

2025年度『由布院駅アートホール』で開催する展覧会企画を募集します。 絵画、彫刻、立体、写真、映像、インスタレーション、書、工芸など、ジャンルは問いません。駅の待合室を兼ねたアートホール全体をプロデュースする企画をお待ちしております。

2025.4 - 2026.3

応募締切 2024年11月30日(土)

当日消印有効

問合せ

由布院駅アートホール 事務局

〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北8-2

TEL&FAX 0977-84-4678

送付先

E-mail arthall@yufuin.gr.jp



Instagram



Facebook

## 募集規定

- 1) 2025年度内(2025年4月1日～2026年3月31日)の約1ヶ月間、『由布院駅アートホール』で開催可能な主題性のある展覧会企画とします。
- 2) 応募資格については、年齢・性別・国籍・ジャンル(絵画・写真・彫刻・立体・書・工芸・映像・インスタレーションなど)は問いません。  
但し、過去3年間に由布院駅アートホールで展覧会をした個人、グループは申し込めません。
- 3) 企画者については、個人・グループを問いません。  
自身の企画、複数の作家との共同企画や作家とコーディネーターなどでのグループ企画も可能です。
- 4) 原則として、以下の企画は受付できません。
  - ① 遺作展の企画
  - ② 物品販売などの営利目的の企画
  - ③ 由布院駅の待合室としての機能を損なう可能性のある企画
- 5) 同企画者による複数の応募は可能です。  
ただし、1企画ごとにそれぞれ所定の様式に沿って、個別の企画書でご応募ください。
- 6) 応募申し込み料は無料です。

## 応募方法

所定の応募申込書(1～3ページ)に氏名・住所・連絡先・企画内容・展示プランなど必要事項を記入の上作品資料と共に下記事務局宛に郵送してください。

\*送料は応募者の負担となります。

### ◎申込受付期間

2024年11月30日まで(当日消印有効)

## 作品資料

- 1) 『由布院駅アートホール』に展示予定の作品写真(プリントしてあるもの)等、それぞれの企画する展覧会の内容が視覚的にわかるものをA4サイズのポケットファイル(目安として20点程の作品等)でご提出ください。なお、作品が未完成の場合は、過去の作品資料でかまいません。

◎応募申込書・作品資料での選考となりますので、作品のサイズと素材が鮮明にわかる資料を提出して下さい。

- 2) 申込書・作品資料は、審査会終了後に希望される方は、着払いにて返送いたします。  
なお、入選者の作品資料は展覧会終了後にお返しいたします。

## 審査

2024年12月以降に審査会により入選企画を選考、決定します。

審査員は、審査委員長・菅 章(美術評論家)、ゆふいんアート委員会委員、由布院温泉観光協会・旅館組合関係者、九州旅客鉄道株式会社大分支社担当者、由布市役所担当者など約30名です。

なお、審査結果は12月中に連絡する予定です。

## 入選

- 1) 入選企画は、2025年度『由布院駅アートホール』にて、約1ヶ月間、応募企画書に基づいて展覧会を開催する権利を有します。
- 2) 展覧会期間は、申込書の希望期間を参考に、ゆふいんアート委員会で調整の上、決定します。  
\*希望通りに添えないこともあります。
- 3) 入選企画を実施するにあたっての制作、搬入、搬出や印刷物などにかかる費用については企画者の負担となります。  
\*アート情報誌「森の散歩道」掲載。費用については主催者負担。  
\*会場使用料は無料。万が一、作品の紛失・破損した場合は、当方が加入している保険の範囲内で対応。
- 4) 展覧会期間中にパーティー形式で、アートフォーラムを開催いたします。

## 出品に関する注意

- ※ 展覧会期間については、当方負担で作品へ保険を付保することとし、同期間内の損害についてはその保険金額内で補償します。
- ※ 展示作品以外は保険の対象とはなりません。
- ※ ガラス入りの額は不可です(アクリル板は可)。
- ※ 物品販売については、関連のポストカードや図録に限りです。

## 主催

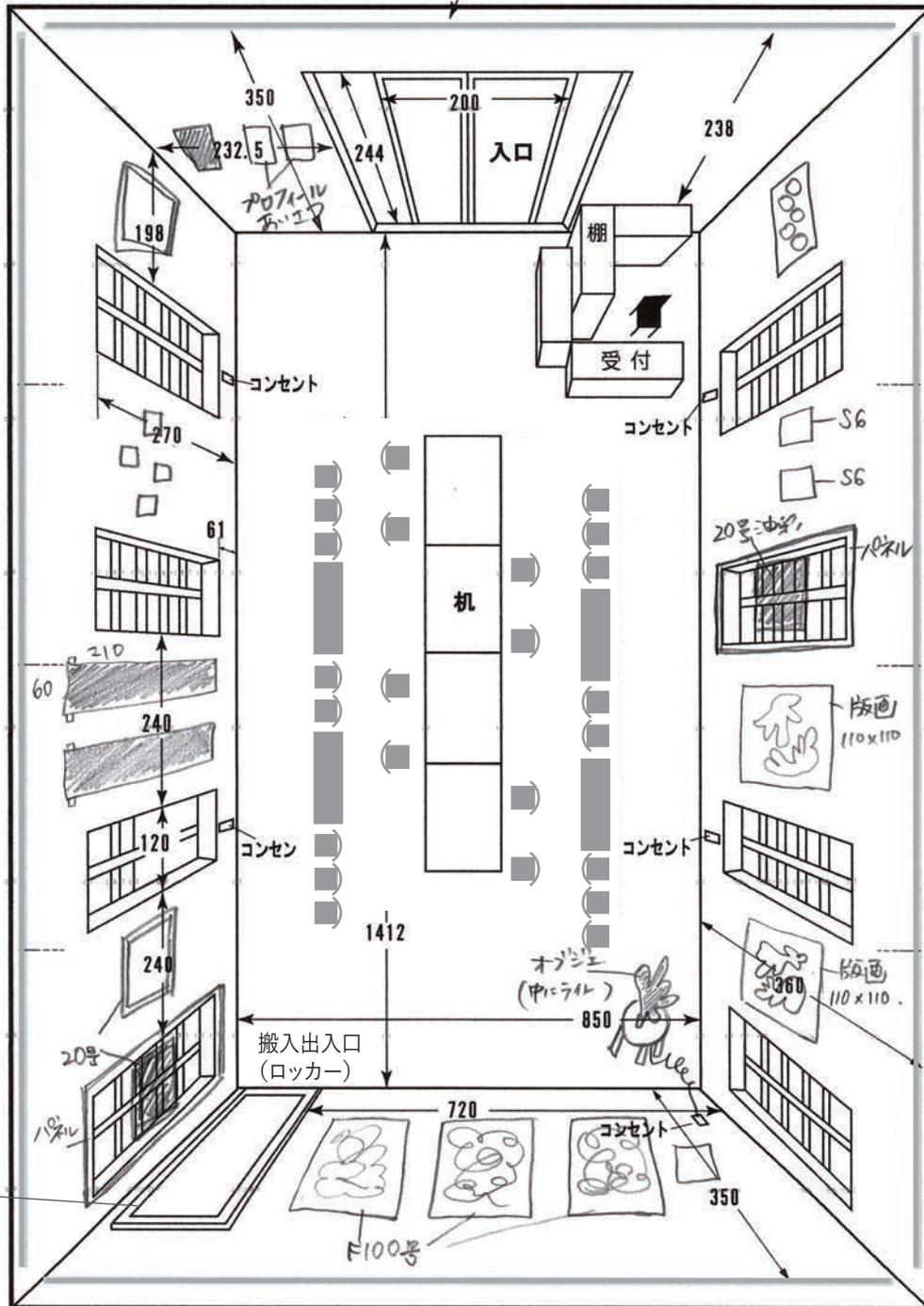
由布院温泉観光協会 ゆふいんアート委員会

# 展示プラン

## 記入例

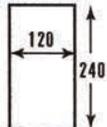
※契約時に改めて展示プランを提出して頂きますので、予定プランを描いて提出して下さい。

由布院駅アートホール/単位:cm/グレーの線はピクチャーレール/椅子



搬入出入口  
265×126 cm

◇仮設パネルサイズ



作品点数予定

20 点



▲入口よりホール奥をみる



▲ホール奥より入口をみる(お客様利用時)

# 2024年度 由布院駅アートホール展覧会 [2024年4月1日 - 2025年3月31日]

4



4/8 mon. - 5/7 tue.

小嶋勇 Isamu Kojima  
福岡県 (絵画)  
「EARTH - 大地の詩」

鳥の眼視点でとらえた地上の風景の一部を切り取り抽象的に表現。

5



5/8 wed. - 5/31 fri.

ゆふいんアート委員会  
Yufuin Art Committee  
大分県由布市 (絵画)  
「1000人の絵画展」

応募資格不問! 多くの作品を募集し、アートホールを絵画でうめつけます。

6



6/1 sun. - 6/28 fri.

河野育代 Ikuyo Kono  
大分県日出町 (絵画)  
「蹄鉄」

蹄鉄台に向かう人や道具を描く。今、忘れ去られようとする手作業の応援歌。品。日々の問いを前にした迷走の軌跡でありたい。

7



6/29 sat. - 7/29 mon.

ホーノキアトリエ  
Honoki atelier  
大分県由布市 (インスタレーション)  
「猫遊湯 ねこゆうゆ」

湯の中で戯れ狂喜乱舞するような猫作品。榎園歩希とホーノキアトリエに通う小学生から20代の約20名による展示。

8



7/30 tue. - 8/28 wed.

大分高等学校書道コース  
Oita High School Calligraphy Course  
大分県大分市 (書)  
「墨春展 - ボクシュンテン」

大分県内の高校で「書道」が専門的に学べる唯一のコース。専門の教員が漢字、仮名、漢字仮名交じり、書道史、篆刻等を幅広く指導しています。今回は、書道コースの3年生7名と教員の松下航との展示。

9



8/29 thu. - 9/27 fri.

東智恵 Tomoe Higashi  
大分県別府市 (絵画)  
「雲煙模糊 UNEN MOKO MOKO」

深い深淵に絶望しつつも、小さな呪いのような思いから生み出された作品。日々の問いを前にした迷走の軌跡でありたい。

10

9/28 sat. - 10/9 wed.

YUNOHIRA ART SIGHT 共同企画  
YUNOHIRA ART SIGHT joint project  
大分県由布市

歴史ある温泉旅館街「湯平温泉」で展開するアートプロジェクトとの共同企画。

10/10 thu. - 10/31 thu.

ゆふいんアート委員会  
Yufuin Art Committee  
大分県由布市 (写真)  
第1回 由布院駅アートホールフォトコンテスト  
由布院駅アートホールフォトコンテストの第1弾。今回のテーマは、「(由布)を撮る」。日本国内だけでなく、全世界から募集し、アートホールで展示をします。

11



11/1 fri. - 11/29 fri.

新庄良博 Shinjo Yoshihiro  
福岡県 (立体)  
「新庄良博彫刻展」

木彫だけの表現ではなく、和紙や竹も使い、無意識の精神と自然の神秘から独創のカタチを創る。

12



11/30 sat. - 12/28 sat.

「院生ふたたび展」  
大分県大分市 (絵画・立体)

永松芳恵、森貴也、松本ゆかり、kirinpicnic、寺江圭一朗による、異年齢の同期大学院生5人による作品展。

1



12/29 sun. - 1/29 wed.

梶原常実 Tunemi Kajiwara  
大分県由布市 (写真)  
「遠い町 - 北へ」

見知らぬ町を訪ね歩くと同時に、遠い昔の記憶へ向かって旅をする。東北・北海道を撮影した写真を中心に展示。

2

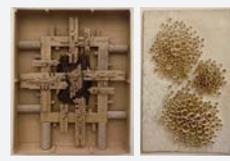


1/30 fri. - 2/28 fri.

ヴッター公園 Vutter kohen  
藝術新社 漂泊 hyohaku  
京都府京都市/大分県由布市 (写真・映像他)

1990年・磯崎新氏によって設計された由布院駅アートホールの歴史を紐解く企画展。由布院駅舎改築時の構想について当時の資料だけでなく、関係者へのインタビューなども行うプロジェクト型展覧会。

3



3/1 sat. - 3/31 mon.

秋月正徳・典子  
Akizuki Masanori・Noriko  
大分県大分市 (絵画・立体)  
「何処へ〜二人の造形展〜」

秋月正徳は幾重にも重ねた段ボール、秋月典子は麻やワイヤー、古木や錆びた金属等を用いて、破壊と再生の相反するイメージを表現。

※公募によって9組の作家が選出されています。※写真は展示作品と異なる事があります。



## 由布院駅アートホールとは

1990年12月に待合室機能をもったアートギャラリーとして誕生しました。年に約12企画(絵画、写真、彫刻など)の展示をしています。地元大分出身の磯崎新氏の設計で、木材と天然石の質感や色調、自然光を取り込む天窓などにより、開放的で明るい空間となっています。

開館時間 9:00 - 18:00

休館日 なし

入館料 無料

## ■ 壁面への展示方法

◇ ピクチャーレール、  
ワイヤー2.0m×10本・2.5m×50本  
専用フック 60個、耐荷重量20kg

◇ 直接壁の展示(画鋸、虫ピン、タッカーのみ)

◇ 仮設パネル(壁面に掛けて使用) 釘など使用可  
縦198cm×横120cm×厚9cm 15枚

## ■ その他の展示方法

床面・天井(軽いものに限る)  
※椅子と机をホール内に必ず配置すること  
配置換えは可能です(事務局まで要相談)

## ■ 展示用備品

画鋸、虫ピン、タッカー、工具、脚立など  
展示台等はなし(必要な場合は企画者側で用意のこと)

## ■ その他

待合室として、ご利用のお客様への配慮  
(作品の盗難・転倒防止等)を重ねてお願いします。